

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 阪本 博美  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 福

TEL 093-602-2770

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,808	—	293	—	258	—	155	—
20年3月期第3四半期	21,895	△1.5	187	—	144	—	163	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	22.31	—
20年3月期第3四半期	23.38	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	12,348	—	3,805	—	30.8	—	545.66	
20年3月期	11,622	—	3,675	—	31.6	—	526.50	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,805百万円 20年3月期 3,675百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	0.9	250	5.9	200	11.2	150	△29.0	21.48

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注]詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[注]詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	7,200,000株	20年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	225,677株	20年3月期	218,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	6,979,133株	20年3月期第3四半期	6,984,049株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。なお、平成20年3月期第1四半期より四半期財務・業績の概況を開示しておりますので、平成20年3月期第3四半期については、売上高を除いて前年同四半期との比較数値は記載しておりません。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、米国におけるサブプライムローン問題やリーマン・ブラザーズの破綻を契機とする国際的な金融・経済危機の影響で、外需が急激に減退、企業業績は悪化、個人消費も一段と冷え込むなど、未曾有の不況に陥りました。

こうした状況の中、当社は新規出店を当面控え、既存店舗の効率化や収益力の強化を図るなど、財務内容の充実化に注力いたしました。

特に、第2四半期に業態変更し、改装オープンした「鮮ど市場上津店」は、地域住民の皆様から大変な反響を呼び、予想以上の業績となりました。又、鮮ど市場事業部につきましては、既存店売上高も大幅に伸張し、全般的に順調に推移いたしました。

SM事業部につきましては、3ヶ店をリニューアルオープン、1ヶ店を賃借物件から自社物件にするなどして業容拡張と収益力の強化を図りました。

D&D事業部につきましては、懸案となっていた不採算店舗を閉鎖し、賃貸化するなどして、店舗の活性化と効率化に努めました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は22,808百万円、営業利益は293百万円、経常利益は258百万円、四半期純利益は155百万円となりました。

また、当第3四半期累計期間の事業部門別売上高は次のとおりであります。なお、前第3四半期累計期間の売上高及び前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

事業部門	(参考) 前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		(参考) 前年同四半期 増減率(%)
	(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品 ※1	11,352	51.9	12,446	54.6	9.6
一般食品	8,231	37.6	8,209	36.0	△0.3
日用雑貨 ※2	792	3.6	708	3.1	△10.7
その他 ※2	1,228	5.6	1,156	5.0	△5.8
計	21,604	98.7	22,521	98.7	4.2
その他の事業	291	1.3	286	1.3	△1.8
合計	21,895	100.0	22,808	100.0	4.2

(注)※1 小売業の生鮮食品部門は、生鮮ディスカウント店の「鮮ど市場」が店舗数も増え、新規店・既存店ともに好調に推移し予想以上の売上高を確保いたしました。

※2 小売業の日用雑貨部門やその他の部門は、同業他社との競争激化により、売上高は減少いたしました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前期末比725百万円増加し、12,348百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金や商品が増加したことなどにより、前期末比705百万円増加し、2,833百万円となりました。

固定資産は、主に賃借店舗土地建物購入、既存店改装、賃貸店舗新設、駐車場用地購入などの設備投資を行いましたので、前期末比19百万円増加し、9,514百万円となりました。

流動負債は、短期借入金や1年内返済予定の長期借入金が減少しましたが、買掛金が増加したことなどにより、前期末比685百万円増加し、5,747百万円となりました。

固定負債は、その他の固定負債が増加しましたが、長期借入金が減少したことなどにより、前期末比89百万円減少し、2,794百万円となりました。

純資産は、前期決算に係る剰余金処分で配当金を支払いましたが、四半期純利益を計上したことなどにより、前期末比129百万円増加し、3,805百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益174百万円や減価償却費285百万円を計上したことに加え、仕入債務が1,346百万円増加したことなどにより、1,879百万円となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出△504百万円に対し、有形固定資産の売却による収入88百万円や建設協力金の回収による収入114百万円などで、△313百万円となりました。

さらに、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入740百万円に対し、短期借入金の純減額△580百万円や長期借入金の返済による支出△1,054百万円などで、△930百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比635百万円増加し、1,850百万円となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は若干計画を上回っておりますが、今後の状況に不透明感がみられるところから、平成20年5月20日に公表いたしました通期の業績予想を修正しておりません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

###### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、第2四半期会計期間末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、第2四半期累計期間において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準については、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響額は軽微であります。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,850,318	1,214,524
売掛金	4,128	3,878
商品	825,802	756,046
その他	153,045	152,937
貸倒引当金	△80	△80
流動資産合計	2,833,215	2,127,307
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,681,979	3,695,910
土地	3,570,691	3,444,182
その他(純額)	718,965	721,395
有形固定資産合計	7,971,636	7,861,489
無形固定資産	105,926	112,418
投資その他の資産	1,437,399	1,521,121
固定資産合計	9,514,962	9,495,028
資産合計	12,348,177	11,622,336
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,952,119	1,606,097
短期借入金	770,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,122,000	1,331,000
未払法人税等	21,960	31,140
賞与引当金	18,000	75,000
ポイント引当金	16,872	18,235
店舗閉鎖損失引当金	—	21,000
その他	846,954	630,119
流動負債合計	5,747,907	5,062,592
固定負債		
長期借入金	1,609,000	1,714,000
退職給付引当金	725,100	723,871
役員退職慰労引当金	134,105	127,494
その他	326,397	318,506
固定負債合計	2,794,602	2,883,872
負債合計	8,542,509	7,946,465

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,714,551	1,714,551
利益剰余金	502,202	381,359
自己株式	△71,353	△69,543
株主資本合計	3,812,508	3,693,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,840	△17,605
評価・換算差額等合計	△6,840	△17,605
純資産合計	3,805,668	3,675,870
負債純資産合計	12,348,177	11,622,336

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	22,808,078
売上原価	17,948,917
売上総利益	4,859,161
営業収入	310,247
営業総利益	5,169,409
販売費及び一般管理費	4,876,155
営業利益	293,253
営業外収益	
受取利息	6,331
受取配当金	3,543
受取手数料	9,405
その他	11,146
営業外収益合計	30,426
営業外費用	
支払利息	62,099
その他	3,337
営業外費用合計	65,436
経常利益	258,243
特別利益	
固定資産売却益	39,090
その他	2,413
特別利益合計	41,504
特別損失	
固定資産除却損	97,011
減損損失	3,501
投資有価証券評価損	17,642
その他	6,734
特別損失合計	124,889
税引前四半期純利益	174,859
法人税、住民税及び事業税	16,774
法人税等調整額	2,334
法人税等合計	19,108
四半期純利益	155,750

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	174,859
減価償却費	285,571
減損損失	3,501
投資有価証券評価損益(△は益)	17,642
投資有価証券売却損益(△は益)	37
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△21,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,229
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,611
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,363
受取利息及び受取配当金	△9,875
支払利息	62,099
有形固定資産売却損益(△は益)	△39,090
固定資産除却損	98,515
売上債権の増減額(△は増加)	△249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,450
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,972
仕入債務の増減額(△は減少)	1,346,022
その他の流動負債の増減額(△は減少)	173,553
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△13,108
その他	4,123
<b>小計</b>	<b>1,953,655</b>
利息及び配当金の受取額	4,381
利息の支払額	△57,102
法人税等の支払額	△21,090
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,879,844</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△504,669
有形固定資産の売却による収入	88,620
投資有価証券の取得による支出	△21,550
投資有価証券の売却による収入	76
貸付金の回収による収入	2,533
建設協力金の支払による支出	△4,149
建設協力金の回収による収入	114,670
敷金及び保証金の差入による支出	△30,808
敷金及び保証金の回収による収入	30,942
その他	11,001
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△313,331</b>



(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△580,000
長期借入れによる収入	740,000
長期借入金の返済による支出	△1,054,000
自己株式の取得による支出	△1,810
配当金の支払額	△34,907
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△930,718</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	635,793
現金及び現金同等物の期首残高	1,214,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,850,318

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額(千円)	
I 売上高		21,895,628
II 売上原価		17,248,431
売上総利益		4,647,197
III 営業収入		
1 不動産賃貸収入	229,488	
2 その他の営業収入	69,876	299,365
営業総利益		4,946,563
IV 販売費及び一般管理費		4,759,312
営業利益		187,250
V 営業外収益		
1 受取利息	8,185	
2 その他	25,529	33,714
VI 営業外費用		
1 支払利息	72,614	
2 その他	3,879	76,493
経常利益		144,471
VII 特別利益		94,643
VIII 特別損失		38,161
税引前四半期純利益		200,953
法人税、住民税及び事業税	14,611	
法人税等調整額	23,002	37,614
四半期純利益		163,339